あいの里東

札幌市立あいの里東小学校　学校便り 令和８年（2026年）11月27日（金）
ＨＰアドレス　https://www.ainosatohigashi-e.sapporo-c.ed.jp/

保健室からのメッセージ～子どもたちの心と成長を見守る～



養護教諭　教育支援コーディネーター　東田　恵子

時々保健便りで「子育てのつぶやき」を発信してきましたが、これまでの保健室での歩みや、時代は変わっても変わらず大切にしてきたことをお伝えしたいと思います。

保健室の歩みと地域の皆様への感謝

私が養護教諭になってこの地域でお世話になった1990年代は、いじめや不登校が急増した時期でした。文部省（現在の文部科学省）が「健康相談活動」を打ち出すと、保健室は「心のオアシス」と呼ばれるようになり、「今日から保健室登校をします！」と気軽に足を運ぶ子どもたちが増え始めました。当時は体制整備が追いつかず、養護教諭が一人で勉強のサポートや遊び相手、保護者の方とのご相談に向き合うという日々が続きました。当時、まだ経験の浅い私を励ましてくださった保護者の皆様には大きな力をいただきました。そして今、かつての現場の経験や教職員の気付きを受け、子どもたちを支える支援体系が徐々に、そしてしっかりと整備されてきています。

教育支援コーディネーターの配置と文部科学省「COCOLOプラン」の推進



令和５年に打ち出された「誰一人取り残されない学びの保障を社会全体で実現するためのプラン」に基づき、子どもたちの小さなSOSや困り感を見落とさないよう、校内チーム全体でサポートを行っています。本校には教育支援コーディネーター（髙田、岸本、東田が担当）が、困り感を抱えたお子さんに寄り添い、適切な支援体制を調整しています。また、校内教育支援センターの機能を兼ね備えた「相談室」が整備されています。利用する児童の実態や気持ちに合わせ、プライバシーが保たれる空間を工夫し、本人の気持ちを大切にしながら保護者の皆様とご相談して柔軟に対応できる場所となっています。



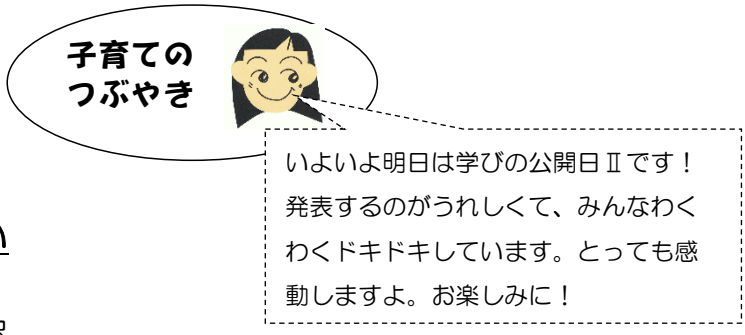
保健室は「自分が大切にされていると感じる場」「自分らしさを大切にできる場」

私が養護教諭になってからずっと変わらず大切にしていることです。子どもたちと仲良くなるために普段から教室での様子や興味関心をリサーチします。友達関係や保健室とは違った一面も見えてきます。一人ひとりをよく知ることで、傷の手当てや応急処置の安心度が上がり（多分、痛みも最小限に！）、かける言葉もその子に合わせたものに変わります。

学校、ご家庭、そして地域社会が一体となり、温かい目で見守ることで、子どもたちは健やかに、自分らしく伸び伸びと育っていきます。今後とも、お子様の健やかな成長をともに支えていきたいと思います。

子育てのつぶやき拡大バージョン

自分らしい子育てを



自然や生命とのふれあいが育む「柔らかい心」と成長の芽

ここ数年、地域の方々からカブトムシの幼虫をお譲りいただき、低学年を中心に貴重な経験を重ねています。今年度は教員数名で実際に幼虫掘りに出かけるなど、大人も童心に返って準備を行いました。子どもたちはその幼虫を一人１匹ずつ大切にお世話していました。さなぎになる前に死んでしまったり、さなぎになってもうまく成虫になれなかったり、そして夏の終わりに動かなくなったカブトムシに涙が出たり、とても貴重な経験をしました。幼虫は大きくて気持ち悪いと感じる子もいましたが、名前を付け、大切に育てると「かわいいんだよ～」とわが子自慢をする子どもたちでいっぱいになりました。本校では、どこの教室にも動植物をかわいがりお世話する子どもたちの姿が見られます。虫や土をいじるのが苦手な子もいますが、先生方は〈苦手な気持ち〉も〈慈しむ気持ち〉と同じように大切に扱い、無理強いはしません。ただ、友達の様子を見て、自分も関わってみようかなと思う子どもたちがどんどん増えていくのを見ると、子どもの心が柔らかく可能性にあふれていることを実感し、感動します。生命と向き合う体験は、子どもたちに豊かな感情の芽生えをもたらしますね。

子どもの力を信じる「見て見ぬふり」のすすめ

学校生活は、子どもたちにとって初めての経験の連続です。不安に揺れる日もあれば、喜びでいっぱいの日もあります。意地悪なことを言われて傷ついても、仲直りをしてほっとしてまた戯れ合う、子どもは子ども同士の社会の中でこそ健全に育っていきます。大人が介入しすぎてはいけません。

学校でのトラブルや不安は、子どもの前で先生に電話をしないで、こっそり情報共有しておき、担任の先生と一緒に見守ります。何かあればすぐ親が学校に電話してくれるという状況では、子ども自身が自力で乗り越え解決する力を育むことができません。うまく子どもだけで解決できたときには、親も嬉しいものです。その気持ちをダイレクトに伝えましょう。絶対に伝えてください。子どもの居心地のいい「居場所」は親の心の中にあるのに、そのことを言葉にして伝えてあげないと分からない子どもたちや不安な子どもたちがたくさんいるからです。自分の力で解決できた達成感と、親から認められた安心感が自信となり、心の中にしっかりとした「居場所」を感じることができるようになります。現代は情報があふれ、生まれた時から視覚を刺激するものに囲まれて育つため、自分が想像することに自信がもてない子どもたちが増えているように感じます。想像力が欠如すると生きづらさにつながる懸念があります。想像力も判断力も、これまでの体験の積み重ねによって育まれるものです。「自分で決めなさい」「どうしたいの？」と迫るのではなく、子どもの自立の歩みをじっくりと信じて見守ることが大切です。

子育てに悩む保護者のみなさんにとっても、この情報過多の時代は大変です。ただ、ぶれない子育ては、子どもたちの心を安定させます。情報に流されず、筋の通った自分らしい子育てを楽しんでください。

みなさんは、子育てで大切にしていることは何ですか？

心豊かにたくましく未来を拓く子どもの育成

～仲間ともに生きる　しなやかな子～

１２月の行事予定

日にち	曜日	行事
1	火	６年　バレーボール出前授業
2	水	６年　バレーボール出前授業 全学年　５時間（14:25 下校）
3	木	４年　雪体験授業 ３・４年　きらきらたいむ SC 来校
4	金	教育活動に関するアンケート配信 （～14 日まで） 図書貸し出し終了
7	月	全校朝会 ５・６年　委員会 返本期間（～８日まで）
8	火	とび箱ウィーク（～18 日まで）
9	水	５年１組　ハローミュージアム
10	木	５年２組　ハローミュージアム ６年・３組　きらきらたいむ
11	金	SC 来校
14	月	ふれあい活動 ５・６年　６時間授業
16	水	スクールゾーン実行委員会 PTA 資源回収 冬休み図書貸出（１・２年・３組）
17	木	１年　チャイルドガイド １・２・５年　きらきらたいむ ５年　幼稚園保育園交流 冬休み図書貸出（3・4 年）
18	金	短縮５時間授業 冬休み図書貸出（5・6 年） ３組　モノづくりマイスター出前授業
21	月	６年　被爆体験語り部事業 ４・５年　委員会（４年生スタート）
23	水	３・４・５・６年生 KDDI 出前授業
25	金	終業式
26	土	冬季休業日（１月１４日まで）

※校外学習、出前授業の具体的な内容は、各学年便りでご確認ください。

教育活動に関するアンケートのお願い

本校では、年１回の学校評価を行っております。学校評価は、児童・保護者の皆様・教職員にアンケートを実施し、そこから見えてきた成果と課題を整理して、改善すべきところを明確にする取組です。

いただいたアンケート結果やご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かしていきます。

何かとご多用のことと存じますが、教育活動改善のために、建設的なご意見をよろしくお願い致します。

回答期間　１２月４日（金）～１２月１４日（月）

「跳び箱ウィーク」についてのお知らせ

１２月８日（火）～１２月１８日（金）までの間、「跳び箱ウィーク」を行います。各学年、休み時間に体育館が割り当てられている日は、自分のレベルに合った跳び箱を選び、跳び箱運動に親しみます。



後日配られる時間割を見て、体育館割当の日は、けが防止のため、

- 手足の爪を切る
- 髪は後ろに縛れるようにする
- パーカーなどフードが付いた服・スカートは、避ける

等の準備をよろしくお願いいたします。

登下校の安全について

- １２月は、積雪が多くなってきます。路面は雪や氷で滑りやすくなっていますので、冬用の靴を履いて登校するようにご家庭でも声掛けをお願いします。
- 道路を横断する際には左右の安全確認を十分行って渡るように学校でも指導していますので、朝登校する際に一言声を掛けていただきたいと思います。手袋の着用もお願いします。
- 帽子や手袋などの持ち物に記名をお願いします。
- 登校時間は、８：１５～８：２５です。早過ぎる登校によって、寒い中待つことにならないように、ご協力をお願いします。

